

令和5年度 浜松市立浜名小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果、考察及び改善方策

別紙（学校便り、学校評価アンケート結果）のとおり

2 学校関係者評価

2月22日（木）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・学校評価の結果について、学年ごとに集計をしたものがあれば学年ごとの傾向をつかむことができるのではないかと感じている。
- ・あいさつについては地域によって差があるが、10年近く地域に立っていて、最近の児童はあいさつがよくなるようになったと感じている。立っているボランティアだけでなく、地域の人にもあいさつができています。
- ・班長があいさつをすると下学年の児童もするので、班長ができるようになるとよい。
- ・先生からの数値の評価が示されていないので、あるとわかりやすい。
- ・いじめアンケートがタブレットになり、小さいことが大きく問題化することがあるのではないかと感じている。
- ・いじめを認知する基準やいじめと欠席の関係について知りたい。
- ・ランドデザインについて、説明を聞いてよくわかったが、理解できない言葉については説明を受けたことで理解できた。
- ・児童用、保護者用アンケートに「朝ごはんをしっかりと食べているか」という項目を入れたらどうか。
- ・交通安全リーダーと語る会に、地域の様子がよくわかっている交通安全ボランティアにも入ってもらった方がよいのではないかと感じている。
- ・学校の様子や評価結果をHPに載せているが、文章だけでは伝わりにくい。
- ・地域を巻き込んで、地域に頼っていくことが必要。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・いじめアンケートについては今後も継続し、丁寧に細かく見ていく。小さいことでも子供たちの気持ちに寄り添い、聞き取りをしながら対応をしていく。
- ・教員の評価については、数値で表すことができるものを追加する。
- ・交通安全リーダーと語る会については、自治会長や交通安全ボランティア等の地域の様子がわかる方にも声を掛け、話し合いが深まるようにする。
- ・情報を発信して地域を巻き込み、必要なことは地域に頼っていく。